

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース



No.148

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>

事務局へのお問い合わせは上記 Homepage お問い合わせフォームより

発行人:大宮 裕樹

〒062-0931

北海道札幌市豊平区平岸1条6丁目 3-40

KKR 札幌医療センター

診療技術部 臨床工学科

TEL 011-822-1811

令和元年度 公益社団法人

北海道臨床工学技士会 総会開催

2019年6月9日(日) KKR 札幌医療センターにおいて令和元年度公益社団法人北海道臨床工学技士会総会が開催されました。審議事項、報告事項の各議案に関して委任状による出席者を含め過半数を超えた会員より承認を頂き成立しました。

ご多忙な時期にも関わらず、御協力いただいた会員の皆様に御礼申し上げます。

- 出席者数
会員総数名 (1250名 令和元年5月10日現在)
出席者数名 (638名 うち委任状出席 602名)
- 審議事項
第1号議案 平成30年度事業および収支決算報告
第2号議案 平成30年度監査報告
- 報告事項
令和元年度事業計画報告
令和元年度収支予算報告

広報 東



挨拶をする大宮会長と会場風景

2019年度旭川市健康まつりに参加!!

2019年6月8日(土) 旭川市の道北アークス大雪アリーナにおいて、旭川市健康まつりが開催されました。北海道臨床工学技士会からは、『足の血流測定』として皮膚灌流圧(SPP)の測定を行うブースを設け参加しました。また、臨床工学技士を題材とした『いのちのエンジニア』の紹介や、公益事業の1つであるAEDの日常点検の啓発を通して北海道臨床工学技士会の紹介を行いました。健康まつりへの参加は今年が初でしたが、SPPは一般の検診で行う機会が少なく、興味を持たれた方も多く短い

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース—目次—No.148

| | |
|---------------------------|---|
| 令和元年度公益社団法人北海道臨床工学技士会総会開催 | 1 |
| 2019年度旭川市健康まつりに参加!! | 1 |
| 第14回医療安全セミナー開催 | 2 |
| RM ニュース | 3 |
| 理事会からのお知らせ | 4 |
| 8月からの予定表 | 4 |
| 頑張れフレッシュャーズ | 5 |
| メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスのご案内 | 6 |
| 「腎代替療法専門指導士」が創設か? | 6 |

時間の中ではありましたが SPP 体験者数 92 人、ブースには 300 人以上の方にお越し頂きました。測定を受けられたのは健康に関心が高い高齢者の方が多く、測定の際には簡単な説明や質問を受けながら



健康まつりでの臨床工学技士ブース

交流することができました。臨床工学技士について知っているかという質問に対しては、知らない、名前を知っていても業務の内容までは分からないと返答される方が多く、まだまだ一般の方への認知度は低いと思われました。しかし、今回初めて知ったという方も多く、今後もこのような活動を続けていくことで臨床工学技士をもっと知ってもらえるきっかけになると手応えを感じました。最後に、今回の健康まつり参加に御協力頂いた方々に感謝申し上げます。

広報 小玉

第14回医療安全セミナー開催

2019年6月9日(日)KKR札幌医療センターにおいて、第14回医療安全セミナーが開催され、現場のスタッフやリスク管理の担当者など様々な方に参加していただきました。今回は「北海道胆振東部大地震の教訓を活かす」というテーマで、2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震に伴う各方面の状況や対応についてご講演していただきました。



医療安全セミナーシンポジウム

胆振地区の被災状況について、日高町立門別国民健康保険病院 副臨床工学技士長の亀田先生から、被災地域での血液透析治療をどのように実施したか、その対応や経験を通して気付いた課題点についてご講演していただきました。停電により電話が不通となり、連絡手段に苦慮したことなどが今後の検討課題であると述べられていました。

シンポジウムでは、「震災時の透析施設における各施設の対応～透析患者を受けた側、送った側として～」と題して、4施設の講師から講演があり、各施設の立場から震災時の対応についてディスカッションがおこなわれました。受け入れた側では、透析条件の確認や、使用物品の調達、透析時間の調整、勤務スタッフのシフトなど、多くの問題と向き合いながら対応をしたというお話を伺う事ができました。それぞれの立場で経験したことを振り返ることで、お互いの課題点について把握することができ、今後どのような対策を講じる必要があるのかが分かる良い機会となったと感じました。

危機管理委員会からは、國木委員長が北海道臨床工学技士会の災害時情報共有体制についてご講演されました。メーリングの活用や、今後各地域での



医療安全セミナー風景

災害情報コーディネータを選出し、北海道全体での情報共有体制づくりを進めていくとの方向性が示されていました。

札幌医科大学付属病院の橋本先生からは、主にDMATの活動について自身の活動経験を通してご講演していただきました。様々な経験を、包み隠さず話していただき、大変興味深く聴くことができました。また、全体を通して、災害時の正しい情報の重要性について述べられていた点が印象的でした。

今回のセミナーは、多数の方が参加されたことから、各施設における災害対策に関する関心の高さを感じました。今後も、このような有意義なセミナーが開催されることを期待しています。

ご多忙の中、ご講演頂いた先生方、参加された皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

広報 東

◆RM ニュース◆

＜呼吸器患者ら避難2割未満 北海道地震、電源確保懸念 全域停電で札幌市調査＞

昨年9月の北海道地震で、慢性的な呼吸不全のため「在宅酸素療法（HOT）」で酸素を吸入したり、人工呼吸器を利用したりする患者ら約1300人を対象に札幌市が行ったアンケートで、避難行動を取ったのは回答者の2割未満だったことが7日、市への取材で分かった。全域停電によるエレベーターの停止や、避難先での電源確保への懸念などが理由だった。

患者らは避難に伴う移動が比較的難しく、電源確保が生命の危険に直結しかねない。電源がある避難先の未整備や情報不足、避難時のサポート態勢の不備で、自宅にとどまる以外の選択肢を取りにくい実態が浮き彫りになった。

呼吸器機能障害の身体障害者手帳を所持する1299人が対象で、うち約52%の681人が回答。回答者の約76%の519人が常時電源を必要とする人工呼吸器や酸素濃縮器を利用していた。

実際に避難したのは回答者の約17%の120人。行き先はほとんどが病院や親族宅で、避難所は1人だった。自宅で過ごした理由は「避難所での感染は致命的」「避難先に電源がなければ意味がない」などだった。

また、地震前から予備バッテリーや蓄電池などを事前に準備していたのは約9%の64人だった。災害後、発電機や予備の酸素ポンペを追加するなど対策を進めた人は約17%の121人で「特にしていない」は約65%の446人だった。停電対策製品を購入していない理由は「高価なため」が約34%の232人で最多。

電源が確保できる避難先の情報や予備の酸素ポンペの提供を求める意見の他「エレベーターが停止すると移動できないので、複数の支援者が必要」といった声もあった。

患者団体の日本呼吸器障害者情報センターの遠山和子（とおやま・かずこ）理事長は「停電時はいち早く電源が不必要な酸素ポンペに切り替える必要があるが、備蓄にも限りがある。被災により業者の供給が途絶えることを想定して、今後は福祉避難所に酸素ポンペを備蓄してほしい」と指摘した。

札幌市は発電機や蓄電池の他、車用インバーターの購入を補助する。障がい福祉課の担当者は「避難できない人への支援の必要性を痛感した。今後、避難所の充実にも努める」としている。

2019年7月8日(月)配信共同通信社

＜患者死亡、心電図監視怠る 神戸の病院、因果関係不明＞

神戸市内の病院では4日、兵庫県の40代の男性入院患者が3月に死亡した際に、心電図の波形などをナースステーションに送る発信機の電池が切れていたと発表した。モニターで変化を監視する必要があったが、気付くのが遅れた。死亡との因果関係は不明としている。

病院によると、男性は昨年11月に頸椎（けいつい）椎間板ヘルニアで入院。手術後に誤嚥（ごえん）性肺炎を発症した。今年3月24日午前1時ごろ、たん吸引で病室を訪れた看護師が呼吸停止に気付

き、その後に死亡を確認。前日の23日午後11時50分ごろに血糖値を測定した際は異常がなかった。死因不明で、急性呼吸不全や急性心筋梗塞が考えられるとしている。

死亡後に心電図を調べると、電池切れで23日午後10時以降は記録を送信できていないことが判明。ナースステーションにいた当直の医師や看護師は、波形や数値がモニターに表示されていないことに気付かなかった。

電池が少なくなるとアラームが鳴る仕組みだった。病院は、アラームは鳴ったのに医師か看護師が異常がないと勝手に判断して消したとみている。電池は24時間で交換する決まりだったが、これも忘れていた。

2019年6月5日(水)配信共同通信社

理事会からのお知らせ

2019年6月9日に行われた理事会で以下の報告事項、協議事項がなされました。

報告事項

事務局報告

- 会員数 1257 名 (+7)
- 新入会者 10 名
- 退会者 3 名
- 賛助会員 65 社
- 保険加入者 151 名

議案事項

- 議案 1. 組織図について
- 議案 2. 委員会委員委嘱について
- 議案 3. 後援依頼について
- 議案 4. ちえりあフェスでの企画について
- 議案 5. 総務局医療機器アドバイスの件
- 議案 6. HP・災害時の情報共有ツールについて
- 議案 7. 災害対策マニュアルについて
- 議案 8. 支部制導入時の備品管理について
- 議案 9. 医療安全セミナー開催時期

(令和元年11月17日 KKR 札幌医療センターで開催決定)

8月からの予定表

2019年8月25日(日)

「救急CEハンズオンセミナー2019」

会場 札幌医科大学 教育研究棟 I 3階 C301

<http://hcea.umin.ac.jp>

2019年8月31日(土)

「旭川バイタルサインセミナー」

会場 旭川市大雪クリスタルホール国際会議場

<https://www.nihonkohden.co.jp/iryoseminar/vitalsign/20190831.html>

2019年8月31日(土)

「CEセミナー(日本集中治療医学会

第3回北海道支部学術集会同日開催)」

会場 札幌コンベンションセンター

http://hcea.umin.ac.jp/files/pdf/2019/kyuukyuu_CE.pdf

2019年9月8日(日)

「第10回北海道呼吸療法セミナー」

会場 北海道自治労会館

<http://hcea.umin.ac.jp>

2019年9月8日(日)

「第2回 日本EPアブレーション技術研究会
北海道地方会」

会場 ムトウ札幌本社

<https://hokkaidoepablenky.wixsite.com/mysite>

2019年10月19日(土)～20日(日)

「第6回北海道・東北臨床工学会」

会場 山形テルサ

<http://ce-yamagata6.umin.jp/>

2019年11月30日(土)～12月1日(日)

「第30回北海道臨床工学会」

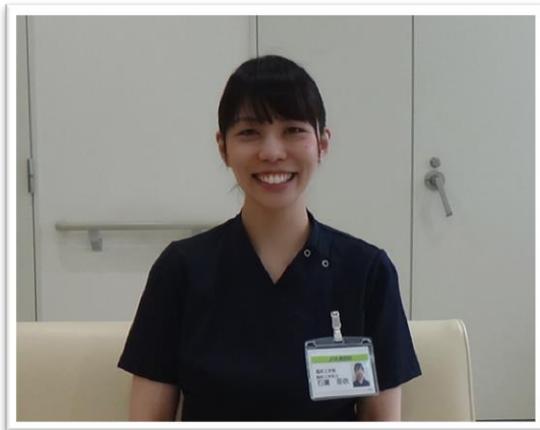
会場 北海道大学学術交流会館

<http://hcea.umin.ac.jp>

頑張れ！フレッシュャーズ

このコーナーは、平成 30 年度の卒業生で北海道臨床工学技士会より表彰を受けた道内臨床工学技士養成校の卒業生に、現在の状況や今後の抱負など熱い思いを語ってもらうコーナーです。

今回は、平成 31 年 3 月に吉田学園医療歯科専門学校を卒業し、現在 JR 札幌病院にて勤務中の石灘亜依さんです。



私は平成 31 年 3 月に吉田学園医療歯科専門学校 臨床工学科を卒業し、4 月より JR 札幌病院に勤務しています。

当院の業務は透析をはじめ、手術室、機器管理、血管造影、集中治療をローテーションで行っており、現在は透析業務を中心に従事しています。

臨床工学技士として働き始めて 2 か月が経過し、日常業務を一通りさせてもらっています。ですが、知識が浅く自信がないため、確認に時間をかけてしまい、患者さんや看護師さんに迷惑をかける日々です。特に手技を行っている際には、一つに集中しすぎてしまい、周囲や患者さんの状態、変化に意識を向けることができず反省することはばかりです。そんな私に「消極的になっても何もできない。先輩がついてくれる新人のうちだからこそ積極的になんでもやったほうがよい」とプリセプターから声を掛けられ、少しずつではありますが積極的に患者さんに関われるようになりました。

5 月からは穿刺業務も始まり、苦痛の少ない穿刺が課題であり目標としています。そのためにプリセプター指導の下、血管の観察に一番時間をかけ穿刺をしています。患者さんの中には痛みを我慢される方もいるため、大切なことは技術に加え、観察力やコミュニケーションも重要だと感じています。これからは技術面のみならず、患者さんがどのように感じているかを常に考え行動に移すことのできる臨床工学技士を目指し努力したいと考えています。

現在は日々の業務に慣れること、知識不足を補うための勉強に追われていますが、今後は学会やセミナーでより多くのことを学びたいです。そして、今後は後輩に目標とされるような魅力ある技士を目指したいです。また、他の医療従事者や一般の方に臨床工学技士の役割や存在を広めチーム医療における活躍の場の拡大のため、ご活躍されている諸先輩方のように北海道臨床工学技士会での取り組みにも携わることができるよう精進していきます。



《メディカルオンライン学会誌無料閲覧 サービスのご案内》

「北海道臨床工学技士会誌」に掲載された過去の論文を電子化し株式会社メテオが提供する文献検索サイト、メディカルオンラインで閲覧することが可能です。

2019年度アカウントについて（2020年3月末日まで有効）

専用 ID : 1100007199-04

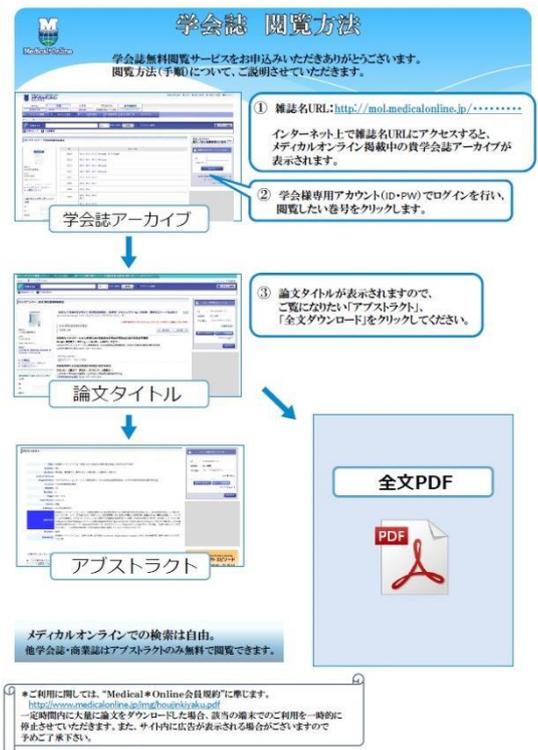
パスワード : 7792mrpz

当会雑誌名① : 北海道臨床工学技士会誌

雑誌 URL :

<http://mol.medicalonline.jp/archive/select?jo=ey2rinsy>

雑誌 URL へ接続しますと、北海道臨床工学技士会誌のアーカイブ画面へ遷移します。画面右側の会員認証欄に上記専用 ID/パスワードを入力後、会誌の閲覧が可能となります。



重要

「腎代替療法専門指導士」が創設か？

日本臨床工学技士会より、第64回日本透析医学会（6月末に開催）において、「腎代替療法専門指導士」が創設されるとの情報を得ましたので、情報提供いたします。

本指導士は腎代替療法の治療の質の向上を目指すものであり、看護師、臨床工学技士、薬剤師および管理栄養士の国家資格を有する者が、日本透析医学会が実施する講習を受けることにより与えられる資格です。

また、現在、令和2年度の診療報酬改定に向けて様々な議論が行われるところですが、CPADや在宅透析の導入患者に対して本指導士が指導を行った場合において、導入期加算の増額を求める動きもあるとのことでした。

なお、本指導士取得の講習受講のために職種ごとの要件が設定され、臨床工学技士においては血液浄化専門臨床工学技士および認定血液浄化臨床工学技士、認定医療機器管理臨床工学技士を有する者とされる予定です。

日本臨床工学技士会では、この制度に対応すべく、認定・専門臨床工学技士の指定講習会や検定試験の本年度の予定を一部変更いたします。皆さまにおかれましては、趣旨をご理解の上、まずは認定血液浄化臨床工学技士などの取得をご検討いただくよう、お願い申し上げます。

この度の情報提供は、現時点で日本臨床工学技士会が把握する情報に基づくものであり、今後、詳細部分につきましては変更の可能性があることをお含みおきください。

経験と実績から生まれたME機器管理システム

HCSMA Version 7

Hospital Management System



WEBアプリケーション フルモデルチェンジ

位置情報検知システム

HOSBE



位置情報検知システムは、Beaconから送信されるBLE (Bluetooth Low Energy) の電波をレシーバーで受信することで位置情報を把握するシステムです。

株式会社ムトウテクノス 札幌市中央区北2条西17丁目1-2 TEL:011-644-6100 FAX:011-644-6101

AsahiKASEI

ABH[®] Series

生体適合性及び抗血栓性に優れています。

ABH[®]-PA

高度管理医療機器 血液透析濾過器
旭中空糸型血液透析濾過器ABH-PA
承認番号 22900BZX00045000

中空糸と容器設計の最適化を図りました。



ABH[®]-LA

高度管理医療機器 血液透析濾過器
旭中空糸型血液透析濾過器ABH-LA
承認番号 23000BZX00337000

アルブミンの漏出を抑えたタイプです。

旭化成メディカル株式会社

www.asahikasei-medical.co.jp
No.2019-3-2783_180x50_1C

困って
いませんか?
シリンジ交換

ご存じですか! 100mLシリンジのメリット

1%ディプリバン注キットに対応
JMSシリンジポンプ

SP-120

▶▶▶ 100mLシリンジを
使用できるから
交換頻度が減り、
リスクを低減できます。



販売名: JMSシリンジポンプ SP-120
医療機器承認番号: 22700BZX00254000

製造販売業者 株式会社 ジェイ・エム・エス 〒730-8652 広島市中区加古町12番17号
http://www.jms.cc/

2019.05.JMS

JIMRO

Adacolumn[®] アダカラム[®] 保険適用

血球細胞除去用浄化器

特徴

- アダカラムは、活動期潰瘍性大腸炎および活動期クローン病の寛解を促進、症状を改善する治療用医療機器です。
- 全身治療を必要とする膿瘍性乾癬に対する効能が認められています。
- アダカラムは、末梢血中の顆粒球および単球を選択的に吸着する、体外循環用カラムです。
- 治療時間は一般的な体外循環療法と比べて短く、60分程度です。

「使用目的又は効果」、「禁忌・禁止」、「使用上の注意」等については、最新の添付文書をご参照下さい。



CE 0123

医療機器承認番号:
21100BZZ00687000

AD20180522v4DA
AD18E171

●資料請求先 株式会社 JIMRO 学術部

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2-41-12 富ヶ谷小川ビル TEL:0120-677-170 (フリーダイヤル) FAX:03-3469-9352 URL: http://www.jimro.co.jp

TORAY

Innovation by Chemistry

生体適合性を追求した
モイストタイプ ヘモダイアフィルター。



トレライト[®]HDF

NVF

販売名:トレライト[®]HDF
一般的名称:血液透析濾過器
医療機器承認番号:22800BZX00367000
医療機器区分:高度管理医療機器

販売業者

東レ・メディカル株式会社
http://www.toray-medical.com/

製造販売業者

東レ株式会社

Medical Support Service Provider



株式会社 株式会社 株式会社 株式会社 株式会社
株式会社 株式会社 株式会社 株式会社 株式会社

生命と健康への貢献

「医師、医療スタッフとともに人々の生命と健康を守る」という
創業以来の使命感のもと社会貢献度の高い
仕事と誇りを持ち、日々努力を
続けております。



血液浄化 低侵襲機器 内視鏡
整形外科 「専門領域に特化した支援・サポート」 眼科
脳神経外科 ニースにお応えするため、それぞれの診療・治療に
特化した専門担当部門を設けています。 テクニカルサポート
循環器 循環器外科 画像診断機器

株式会社 竹山

代表取締役社長 土田 拓也

本社/〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5 ☎011-611-0100(内線) <http://www.takeyama.co.jp>
 ●ほくたかメディカルトレーニングセンター(札幌)〒060-0014 札幌市中央区南1条西14丁目1番地 ☎011-700-5833 <http://www.takeyama.co.jp/hokutaka/>

充実した拠点網によるきめ細やかな営業体制

| | | | |
|--------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 札幌圏 | 中央支店: ☎011-859-8714 | 北支店: ☎011-859-8715 | 新札幌支店: ☎011-859-8717 |
| | 北支店営業センター: ☎011-859-8712 | 札幌支店営業センター: ☎011-859-8713 | 市内営業センター: ☎011-859-8716 |
| | 札幌支店営業センター: ☎011-859-8711 | 札幌支店営業センター: ☎011-826-5161 | 札幌支店営業センター: ☎0134-77-5205 |
| 道央・道南圏 | 道南支店: ☎0143-45-1221 | 苫小牧支店: ☎0144-53-2101 | 小樽支店: ☎0134-29-4524 |
| | 札幌支店営業センター: ☎0125-25-6992 | 釧路支店: ☎0138-83-5000 | |
| 道東・道北圏 | 釧路支店: ☎0154-25-2241 | 北見支店: ☎0157-31-3224 | 帯広支店: ☎0155-35-5900 |
| | 旭川支店: ☎0166-73-3011 | 空知支店: ☎0125-64-3465 | 道北支店: ☎01654-3-9955 |
| 首都圏 | 東京支店: ☎03-3814-0103 | 横浜営業所: ☎045-232-3310 | |




SafeTech®

安全と使いやすさを、その先へ

セーフテック®輸液ポンプ FP-N11

「クランプリング®システム」 「3Dプレス®方式」 カラー大画面を採用

医療機器分類: 高度管理医療機器(クラスⅡ)、特定保守管理医療機器 医療機器承認番号: 22600BZK00005000 一般的名称: 汎用輸液ポンプ

問い合わせ先 **NIPRO** 発売 ニプロ株式会社 大阪市北区本庄西3丁目9番3号

NORITSU PRECISION 製造販売 ノーリツプレジジョン株式会社 和歌山市梅原579-1

2017年5月作成

あなたの勇気で救える命 ~AED(自動体外式除細動器)~

AED(自動体外式除細動器)は、音声ガイダンス指示に従うだけで、初めての人にも簡単に使えるように設計されています。駅構内、学校、病院、社会福祉法人、商業施設など様々な場所にAEDは設置されており、もしもの時の救える命のために、AEDをご検討中の方はお気軽にお問い合わせ下さい。

ACTG 最新医療機器と最新知識の提供を目指す

株式会社アクティブメディカル 代表取締役 山田 誠

〈本社〉〒113-0024 東京都文京区西片1丁目15番15号KDX春日ビル5階
 TEL 03-5842-3015 FAX 03-5842-3016

〈支店〉西東京/横浜/千葉/埼玉/札幌/旭川/帯広/室蘭/釧路 URL <http://www.actg.co.jp/medical/>



AED(自動体外式除細動器)
i-PAD CU-SP1

針刺し防止機構付き透析用留置針

Happycath NEO

メディキット株式会社

発売元: メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島1-13-2 TEL.03-3839-0201
 製造販売元: 東郷メディキット株式会社 〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋字堀川17148-6 TEL.0982-53-8000
<http://www.medikit.co.jp/>
<http://www.togomedikit.co.jp/>

- フルカバータイプのセーフティ機能
- カテーテル表面の潤滑性向上



医療機器承認番号: 21200BZZ00547000
販売名: ハッピーキャス クランプキャスP

北海道臨床工学技士会ニュース

| | | | |
|------|---------------|---------|------|
| 広報担当 | 旭川リハビリテーション病院 | 臨床機器管理課 | 木村吉治 |
| | 北農会 恵み野病院 | 臨床工学科 | 日沖一木 |
| 編集委員 | 旭川赤十字病院 | 臨床工学課 | 奥山幸典 |
| | 旭川医療センター | 診療統括部 | 本手 賢 |
| | 旭川医科大学病院 | 診療技術部 | 南谷克明 |

印刷

株式会社 プリントパック

<http://www.printpac.co.jp/>